

発行●(公財)香川県市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/綾川町

My Town

「いいまち推進室」は、移住・定住促進に奮闘中!

長田慶太建築要素 代表・建築設計士 長田 慶太さん

Top Message

愛されるまちづくりや理想の建物の「要素」とは

地域の元気印/小豆島町

People

まめまめびーる



ビール好きが飲みたいおいしいビールを追求し、小豆島の素材にこだわる地ビールを次々と誕生させている「まめまめびーる」。
大阪で働いていた中田雅也さんが奥さまの史子さんとともに、2016(平成28)年に海が見える小豆島の坂手に醸造所兼パブを開きました。



綾川町



何気ない風景が人々を誘う綾川町 「いいまち推進室」は、 移住・定住促進に奮闘中！

コロナ禍になって、地方への関心が高まる昨今。綾川町では地方創生を担う「いいまち推進室」を設置し、町の魅力をさまざまな形で発信しています。PRの目玉が少ないと悩んでいた綾川町の打開策をご紹介します。

現状打破のため 知名度アップを図りたい

綾川町ではそれまで総務課の業務の一部として移住・定住に取り組んでいましたが、より一層町の魅力を発信し人々を引き付けたいと2019（平成31）年、総務課内に「いいまち推進室」を新設しました。2020（令和2）年度から同室に配属になった川原篤主査は、「推進室に配属になり、地域が抱える問題が喫緊の課題であることに改めて気付かされました。」と話し始めてくれました。

ところが、コロナ禍のため、なかなか本来の業務にとりかかれませんでした。また、綾川町には、主に中山間地域に位置する綾上地区と大型商業施設がある綾南地区があ

り、それぞれに事情が異なり、課題も全く異なります。綾南地区は、交通の便が良く、宅地開発も進み、人口流入の要素はあるのですが、綾上地区は厳しい状況です。早速に移住・定住促進の手を打ちたいところですが、これまでの綾川町は町外での認知度が低く、魅力的なPRが難しいと思われていました。

ふるさとの美しさに気付き、 絆が深まる

そこで注目したのが、2018（平成30）年からスタートしていた「住まいるあやがわフォトコンテスト」。職員では気付かない魅力を住民目線で見つけていただき、町が発信してこうという企画で、いいまち



左から、綾川町総務課デジタル推進室主任主事 上田将博さん、総務課いいまち推進室主査 川原篤さん、同室主任主事 高尾美貴子さん。

推進室も一緒に力を合わせて、取り組んでいこうと考えました。例えば、町の職員は念仏踊などの有名なものに目が行きがちですが、田園風景に電車が走っているだけでも十分に魅力的であることをコンテストの作品が気付かせてくれました。年々クオリティが上がり、総務課デジタル推進室の上田将博主任主事は、うれしい手応えを感じています。「これに取り組んで正解だったと思うのは、人々とのふれあいの機会が増え、コミュニケーションが取りやすくなったということです。撮影スポットの情報交換など、同じ目線で話ができて、さまざまな交流が深まりました。」と笑顔で語ってくれました。例えば、群舞するホテルや綾川の名物だという川霧など、驚くほど美しい町の表情にはつとさせられます。



写真は、四季折々の自然が素晴らしく棚田の風景が広がる綾上地区。撮影者の地域おこし協力隊の金盛友彦さんは、日々地域の魅力の発見に余念がありません。

東京都新橋にある香川県のアンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」で綾川町の特産品をPR。多くの皆さまに綾川町に親しみを感じていただきました。



「あやがわ暮らし」と題し、綾川町への移住・定住を呼びかけるガイドブック。表紙は「羽床富士」と呼ばれる、おむすび山の堤山(つつまやま)。実際にUターン、Uターンした2組のファミリーも登場し、生の声を届けています。



第4回住まいるあやがわフォトコンテスト 最優秀賞「サンセットトレイン」(撮影 寺西信義さん)
フォトコンテストの受賞作品は町のHPにも掲載されています。

そんな写真を使って2021(令和3)年秋に発行したのが移住・定住に特化したガイドブック。「これまでは興味がある方にお渡しするものがなく、口頭や一枚ものの資料をお渡ししていましたが、冊子がある」とより伝わりやすくなりました。目指したのは、何気ない時間に読んでいただけるガイドブックです。」と語るのはいまち推進室の高尾美貴子主任主事。ガイドブックは、大型商業施設や高松空港などに置いたところ、想定以上に好評で、多くの皆さまに手に

ガイドブックで良さと利点をPR

つながりまします。



その感動的な風景を共有することで、住民との絆はどんどん深まっています。年に一度の「住まいるあやがわフォトコンテスト」に加え、「#SmileAyagawa」という企画も行っています。こちらはInstagramでタグを付け、スマホなどで撮影した写真を投稿していただき、広報紙に掲載するというもの。日々の何気ない情景を気軽に投稿することで、魅力の再発見やPR活動

取っていただいています。ガイドブックでも概要を紹介しているのが、移住・定住者への補助制度。例えば、町内で家を建てると100万円！家賃補助もあり、県内の他市町からの移住でも補助されます。また、他市町の方にうらやましがられるほど子育て施策も充実しています。

映像の活用など観光振興との両輪で進む

ガイドブックのみならず大型商業施設などではデジタルサイネージ(電子看板)を活用し、町の魅力を発信しています。綾川町では、地域おこし協力隊制度を導入しており、隊員の金盛友彦さんがドローンで撮影した四季折々の棚田の風景など、地域に暮らし、地元住民と共に見だした綾川の自然や素顔を、これまでに見たことのない視線でPRしています。

また、川原主査は「情報発信はまだまだ弱いという認識です。SNSも活用して、もっと強力にしていきたい。しかし、デジタルのみならずアナログの部分も忘れてはいけません。人と人との温かいつながりは綾川町の大きな魅力。この温かさはしっかりと残し、さまざまな世代の方から選ばれる町を目指していきます。」と締めくくってくれました。住む人の笑顔が、何より大切と知る「いいまち推進室」は、笑顔あふれる綾川町のPRのため、今日も奮闘中です。

観光振興の担当である経済課と力を合わせ、県外に向けてのPRに力を入れます。また、道の駅滝宮を舞台に若者向けの魅力発信イベントも開催しました。

幅広い層から魅力を集め、より広く「いいまち綾川」を発信する

今後の課題としては、上田主任主事は「フォトコンテストに応募してくれる年代層は50代、60代、「#SmileAyagawa」は30代、40代と限定されがち。さらに幅広い層の目線で綾川町の魅力を発信していければと考えています。また、それらの写真を広く使いやすいPR素材にできないかというのも今後の課題です。」と熱いまなざしで語ります。



香川の先進企業の力を探る あの人になりたい！

長田慶太建築要素

代表・建築設計士

長田 慶太さん

建物には住む人、使う人の思いが積み重なって
いきます。その受け皿を作るといっ
気概を持って、公共建築に取り
組んでほしい。

また、ものを創る情熱を持った
若い世代が育っていないよう
にも感じます。建築に限らず
物事にとことんこだわるところに
素晴らしいものが生まれます。その喜びを伝える
ことができる人材育成についても考えていただ
きたい。



2021（令和3）年度の香川県文化芸術選奨を受賞した建築家の長田慶太さん。その作品の数々は、グッドデザイン賞など数々の賞を受賞しています。「建築要素」というユニークな名前を事務所名とし、自らも建築を取り巻く一要素と位置づける長田さんにお話を伺いました。



高松市街を一望する峰山の高台にある「長田慶太建築要素」の事務所。長田代表やスタッフの面々が要素となり、クリエイティブな時空間が生まれています。部屋に置かれた幾つかの作品の模型は、建物に対する情熱の片りんをのぞかせています。

■社名の由来をお教えてください。

2003(平成15)年1月に独立して「長田慶太建築要素」を設立しました。おそらく建築業界で社名、事務所名に「要素」と付くのはここだけでしょう。20年近く前に付けた事務所名ですが、今に続く建物との関わり方を象徴しています。

独立以前、建築とは全く関係のない成蹊大学法学部政治学科を卒業しました。その後、商業施設設計を主な業務とする株式会社不二アドに入社し、まだビスの種類も名称も分からぬまま、現場監督業がスタートしました。小さな住宅からの担当でしたが、建物の完成までには多くの人が関わることを知りました。

設計行為は、お施主様、設計者、職人、使用される資材、そして完成する建物を利用される方々、さらには時間経過等、建物を取り巻くすべての要素が出会い初めて完成するものです。言い換えれば、僕の行う設計行為はその要素の一つでしかありません。独立を決意した時、僕もその要素の一つではあるけれど、僕にしかできない関わり方で建築と関わり続けたいという思いを込め、「長田慶太建築要素」と名付けました。

■建築を考える上で大切にしていることを教えてください。

子どもたちにワークショップを行うことがあります。子どもたちに建築という言葉を出すと、どうしても屋根を思い浮かべたり建物自体を想像してしまいます。そこで私は、「例えば土地には、その土地の歴史があり環境があります。そこに建物が建つことで住む人や訪れる人がいます。建築はそうした歴史や環境と、人を結びつける仕掛けづくりであり、建物はその装置なのです。」と子どもたちに説明しています。形が先行するのではなく、機能から生まれるデザインを大切にしてもらいたいからです。

私が設計した「宮脇町ぐりんど」で例えると、あの場所の歴史をたどれば以前は山でした。人と山をきちんとつなげるものにしようというのが、そもそものスタートラインでした。土地には自然にその場所に合った雑草が茂ってきますが、そんなふうに建築を育てることができれば、結果的に持続可能な建物となっていく。無理やり合わせるのではなく、そこにあるものを大切に一個ずつ、つなぎ合わせていくことにより形が生まれるのが理想です。



峰山のふもとと斜面を利用して、土地のつながりを大切に考えた集合住宅「宮脇町ぐりんど」。雑木林の連層長屋です。
【撮影】新建築社写真部



結局、建築は不完全なものを必死でつなぎ合わせてできあがっていきます。1を足し算して設計し、現場でも同じく1を足し続けて完成します。一気にできあがるわけではなく、要素を積み上げてできるものです。

私は、建築における有名大学出身

でも、有名事務所に入っていたわけでもなく27歳で独立しました。明確に説明が付くことをしなければ仕事にならなかったのだと思います。アートを語ってみたいするだけではだめで、現実的にあるものを実際につなげて考えることを、仕事上で問われ続けてきました。なるべく多くの要素を見つけ、なるべく少なく選び、大切につなげて創り上げる作業をくり返して今に至ります。

**インスピレーションが湧く瞬間や、
そのために心掛けていることが
あれば教えてください。**

僕の場合は、お客さまのイメージと、現地の土地の個性を特に大事にしています。最初にお会いしたときに完成イメージをお伝えいただきませんが、その情熱をもとに頭の中で設計図をスケッチします。そして、土地の公図とにらめっこするのではなく、実際にその土地に赴いてその場所の形だけではなく、歴史や個性を感じ取ることで、頭の中のスケッチをさらに具体化します。5分もかからないうちに最初の設計図が描きあがることもあります。

2022(令和4)年1月、まんのう



現地を見た帰りの車の中で完成図が浮かび上がってきたという「SUNNYSIDE FIELDS(サニーサイド フィールズ)」。
まんのう町に誕生した、おいしいものとステキな体験に出合える公園のような場所です。

て説明しなければなりません。そういうことにならないように、最初のお客さまの言葉と現地で見た土地の個性を大事にしています。

**今までで一番印象に残っている
仕事について教えてください。**

どの仕事もそれぞれにこだわりやチャレンジがあり、苦勞も喜びもあるので、どれか一つをと言われると困ります。一番というわけではないのですが、「宮脇町ぐりんど」はいろいろと実験的な取組みも多かった仕事ですので、印象に残っています。

あの土地は15年ほど空き地でした。急斜面のせいで人を寄せ付けず、かといって山に帰れずという土地で、人と山の本来あるべき姿を模索して始まったのが「ぐりんど」というプロジェクトでした。実験的要素がたくさんありましたが、今になってみても全てがうまくおさまったような気がします。住環境としてのおおらかさがあり、持続可能という観点でも土の温度が部屋の温度に影響を与え、温度変化は安定しています。西日がまともに当たる場所ですが木々を植えることで、夏は木漏れ日程度の日差しになり、冬は葉を落とすので日

当たりが良くなります。あの場所の要素を生かすことができたと思います。



まんのう町にある久保動物病院。職人さんたちのがんばりで動物たちが鼻を突き合わせるような美しい形が生まれました。

【撮影】福家大介(福家スタジオ)



家を建てる人へのアドバイスをお願いします。

「建物は土地の魅力を超えることはできません」とよく言います。建築はその敷地の持っているデメリットを消すことはできませんが、メリットを生み出すことはできません。だから、「土地選びは大事にしてください」とアドバイスしますね。好きでは無いと思う土地に家を建てても、その家を好きになることはないと考えています。土地とのつながりも含めて、その土地が好きだという理由があると思います。お客さまが気に入っているその土地の個性を引き伸ばす作業が家づくりだと考えています。

今後力を入れて取り組みたい事業等があればお聞かせください。

建築は他人様のお金で自分の作品を造るようなところが根底にありますから、一個ずつ思いをつなげていく作業を、ただ淡々と肩肘を張らずにできた良いなと思っています。次はあれがしたいとか、こんなことをやりたいとかは、もともと持っていないし、持たないようになっています。

これからの「まちづくり」には何が重要だとお考えですか。また、行政側に求められることは何かお聞かせください。

建物、特に公共の建物はその町を印象づける重要な役目を担っています。一つの建物が町のにぎわいをもたらすことも少なくないはずですが、例えば、コミュニティセンターなどの場合は、よく使う人がいるわけですから、まずワークシヨップやヒアリングなどを行い、行政の人が使われる人々の声を集めて、入札の条件として示すべきだと考えます。もちろん予算は大事ですが、その範囲で使う人の声や要望を行政として、きちんととりまとめておく必要があるのではないのでしょうか。地域住民の要望が把握できていれば、どんな設計者が来てもより良い建物が完成すると思います。

行政の方がマスタープランの道しるべを示すことができれば、建築としてもアーバンデザインとしても素晴らしいものが生まれるのではないのでしょうか。ビッグプロジェクトだけでなく、小さい建物こそそういう取り組みが始めやすいと思います。建築

県と呼ばれる香川県に素晴らしい作品が今後も誕生するよう皆さんの奮闘に期待します。

また、最近は、若手の元気な設計者が育っていないことが気に掛かります。働き方改革が叫ばれています、もののづくりや設計の仕事は、掛ける時間に見合った報酬が支払われるものではありません。納得するものができなければ定時に帰れないこともあります。今は、ものを創



長田 慶太 (ながた・けいた)

香川県出身 (高松市在住)

昭和50年12月22日生まれ 46歳

平成10年 成蹊大学法学部政治学科 卒業
平成12年 株式会社不二アド 入社
平成15年 長田慶太建築要素 設立
平成19年 高松市都市景観賞 受賞
平成20年 グッドデザイン賞 受賞
平成25年 JCDデザインアワード2013 銀賞 受賞
平成27年 平成27年度高松市美しいまちづくり賞 受賞
平成28年 第14回環境・設備デザイン賞 BE賞 受賞
グッドデザイン賞・ベスト100 選出
平成29年 日本建築学会賞作品選奨 最終選考
令和 3年 香川県文化芸術選奨 受賞
現在に至る。

事務所所在地 香川県高松市峰山町1838-65

PROFILE

る情熱を持った人々が若い世代に育っていないと感じています。建築に限らずとことんこだわるところに素晴らしいものが生まれてきます。その喜びを伝えることができる人材育成の仕掛けづくりも、行政の皆さんには考えていただきたいと思っています。



農政水産部 農業経営課
主任 久保 有司

就農希望者の想いをサポート 「新規就農者の里親登録制度」 スタート

新規就農者の里親

香川県では、新規就農支援施策の一つとして、平成24年度から「新規就農者の里親育成事業」を実施しています。

本事業では、農業士等が里親となり、独立就農希望者を研修生として受け入れて実践的な研修を実施し、就農準備から独立就農後まで総合的なサポートを実施する場合に研修経費の支援を行っています。

こうした施策により、平成28年度から令和2年度の5年間に80人が里親のもとでの研修を経て独立就農し、農業経営者として活躍しています。

里親からの就農のメリット

里親から栽培技術や経営感覚を習得できることのみならず、里親を通じて周囲の農業者や自治会との交流が深まり、研修期間中から地域との信頼関係を築くことができるメリットがあります。

新規就農者は、優良な農地を借りにくいことや、就農後の相談相手がないことが課題となることが多いですが、就農前から地域との信頼関係を築くことによって、優良な農地などさまざまな情報が集まりや

すくなり、スムーズに農業経営のスタートを切ることができています。

「里親登録制度」と

「お試し就農制度」の創設

県では、このような里親からの独立就農というルートを強固なものとしていくため、今年度、「新規就農者の里親登録制度」を創設しました。

これまでは、支援事業の活用者を里親と呼んでいましたが、県において研修受入体制や就農後のサポート等一定の基準や責務を定め、それらを満たす方を里親として登録する制度としました。

また、就農希望者が安心して研



修先となる里親を選択できるよう里親登録者の経営概要や就農希望者へのメッセージを香川県新規就農相談センターのホームページに掲載しているほか、里親や作物とのミスマッチを防ぐため、本格的な研修の前に短期研修を受けることができる「お試し就農」の制度も今年度から開始しています。

なお、里親については、令和4年1月末現在で52名に登録いただいています。

農業するなら香川県

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、田園回帰志向が高まる中、各自治体でも移住や就農に関する相談が増えていると思います。香川県では今年度から移住就農ツアーを開催しており、その中でも里親との交流を図るなど、安心して就農できる支援体制を整備していますので、ぜひ香川県での就農をお勧めください。





政策部文化芸術局瀬戸内国際芸術祭推進課
課長補佐 小野 裕美子

瀬戸内国際芸術祭 2022

アートを追うべく島々を巡りながら瀬戸内の持つ美しい景観や自然、島の文化や生活に出会う、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2022」が、直島や女木島など瀬戸内の12の島と高松港、宇野港周辺を会場に、春・夏・秋の各会期あわせて105日間の日程で、今年4月14日に開幕します。

これまで4回の開催を重ねる中で、アーティストが島民と交流し、島の伝統・文化を感じ取り、その島でしか生み出すことのできない素晴らしいアート作品を創作してきました。そして、それを大勢の来場者が島民やボランティアサポーターである「こえび隊」とふれあいがら巡り、島への理解を深め、島の素晴らしさを感じてもらおうという独創性が、国内外から多くのファンを獲得し、地域の「元気」につながってきました。

5回目となる瀬戸内国際芸術祭2022においては、「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信」という観点から、本土側を含めた新たなエリアでの作品展開やイベントの開催及び地域の特色ある自然や歴史、文化などの資源

に着目した新たな取組みを展開し、来場者の周遊を図ります。

具体的には、小豆島エリアでは、土庄港の近くの「迷路のまち」における作品展開を充実させ、寒霞溪と福田地区へ。島への玄関口である高松市では、5月完成予定の「屋島山上交流拠点施設」をはじめ、史跡・天然記念物である屋島へ。丸亀市では、小豆島町、土庄町などとともに日本遺産に登録された「石の島」のひとつである本島（秋会期から）の「石」の文化に着目し、丸亀城などへ。多度津町では、伝統的な街並みを残す「多度津町本通」への周遊を図ります。

加えて、観音寺市では、中心街で行われる街歩きイベント「よるしるべ」と連携した取組みを行います。

また、今回から新たに、コロナ禍における接触機会の低減や来場者の皆さまの利便性の向上などの観点から、デジタルパスポート「通称・瀬戸芸デジパス」を導入しました。お手持ちのスマートフォンにダウンロード（無料）すると、アプリ

内で芸術祭の参加作品や施設のチケットが購入でき、スマホをかざすだけでスマートフォンに作品鑑賞が行えます。

瀬戸内国際芸術祭は、県域を越え、行政と民間が連携して推進する地域創生の取組みです。特に、会場となる島々の住民や市町の理解と協力、その取組みに賛同する多くの企業などによるさまざまなサポートが、その活動の幅を広げています。

アートを媒介に、美しい風景や豊かな文化に彩られた瀬戸内の魅力を国内外に広く発信することで、県域全体の活性化につなげていきたいと考えています。



公式ウェブサイト

瀬戸内国際芸術祭2022

検索



奈良県 田原本町



弥生時代の遺跡「唐古・鍵遺跡」史跡公園の様子。



町長公室参事
若林 吾朗さん

コロナ禍における 奈良県・田原本町の取組み

～感染予防と健康促進を同時に行うことで目指す全世代活躍のまち～



唐古・鍵遺跡史跡公園に隣接する道の駅「レスティ唐古・鍵」。

1 田原本町とは

この記事に目を通していただいている皆さま、ありがとうございます。奈良県は磯城郡に属しております、田原本町より町の取組みをご紹介します。

まず初めに、「たわらもとちよう」と読みます。初見で読める人はまずいませんので、無理に知ったかぶって「たはらほんちよう」「たはらもとちよう」などと言ってみるのは我々が悲しむだけなのでやめましょう（自治体向けセミナーなどの場で町名を正しく読んでいただけないこと数知れず）。ということ、まずは町の名前だけ

でも覚えて帰っていただければ幸いです。

本町は奈良県の北西部に位置しており（このあたりは面積の小さな市町村が密集しています）、人口は32,000人弱です。

歴史ある奈良の中でも、本町は最も古くから開けた地域で、弥生時代の大遺跡「唐古・鍵遺跡」を有しております（史跡公園として整備）。江戸時代は陣屋（大名の藩庁。今で言う役所。当時の陣屋もまさに、現在の町役場のところにありました）の町として栄え、「大和（＝奈良）の大坂」と言われるほど商業が盛んな町でした。昭和の後半からはベッドタウンとしての開発が進み、現在は人口減少の影響を受けつつも、大都市への交通の利便性



奈良県磯城郡田原本町

●面積 / 21.09km²
●人口 / 31,773人
(R3年12月31日現在)
●HPアドレス
<http://www.town.tawaramoto.nara.jp/>

DATA

や子育て環境の良さなどから、子育て世帯の転入が活発な町になっています。

2 新型コロナウイルス禍における田原本町の取組み

本町では新型コロナウイルス禍の取組みとして、「ワクチン接種」と「高齢者の外出促進」について、個性的な取組みを行ってまいりました。今回はこの2つについて紹介したいと思います。

① ワクチン接種

（接種日時、接種状況管理）

新型コロナウイルスワクチンの接種が全国の自治体で始められた当初、接種希望者がコールセンターに電話で予約する方法を採用した自治体において、回線がパンクして混乱を招く事態がたびたび発生していたのは記憶に新しいかと思えます。本町では当初から、集団接種の日時については町においてあらかじめ指定の上で町民に周知し、指定日時では都合の悪い方のみ、コールセンターで日時変更を受け付けるという仕組みをとりました。結果

的には、これが成功しました。接種日時に關して混乱は発生せず、接種がスムーズに進みました。

また、町民の接種状況を管理するにあたっては、町の健康管理システムにおいてRPAを導入し、町民のワクチン接種状況と連携させたことによつて、日に延べ6時間程度を要していた入力作業を1時間程度にまで効率化することができました。

② 高齢者の外出促進

（たわらもとヘルスケアプロジェクト）

もう1つ、コロナ禍で本町が取り組んだ施策が「高齢者の外出促進」です。コロナ禍においては外出控え



専用の歩数計を身に付けて歩くとデータが蓄積される「たわらもとヘルスケアプロジェクト」。

が常態化し、特に高齢者の方々の健康が悪化する可能性があります。このような状況においても高齢者の方々に積極的に外に出て歩いてもらいたいとの思いから、「たわらもとヘルスケアプロジェクト」をスタートさせました。

これは、ウォーキングなど日常における健康づくりへの努力や成果に対して、地域の商品券などに交換することができる「ポイント」を付与する事業です。株式会社タニタヘルスリンクと連携し、健康管理サイトに日々の状況を入力していくことで、データに基づいた健康管理を行うことができます。これと併せて、指導者から個人の健康状態に合わせた有酸素運動や筋力トレーニングの指導が受けられる「健幸運動教室」も行っています。

また、本プロジェクトにおいてはSIBの仕組みを採用し、医療費の抑制や介護リスクの低減などを実現するための成果指標を達成すべく取り組んでいるところです。

令和3年11月時点で約1,100名の方々にご参加いただき、令和2年度においては、本事業参加前と参加3カ月後の比較で、参加者平均

2,000歩強の歩数増を実現しました。

3 おわりに

新型コロナウイルスが未だ猛威を振るう状況が続いておりますが、本町では今後も、感染予防と健康促進の両面からの取組みを続け、「子どもから高齢者まで 誰もがいきいきとした 暮らしを楽しむまち たわらもと」の実現に向け、全力を尽くし果敢にチャレンジして参ります。



香川の まち歩き

瀬戸内国際芸術祭の島として輝きを放つ「男木島」。かつて映画の舞台ともなった灯台や芸術祭の作品が見える浜、神話の時代からの歴史を秘めた豊玉姫神社、海の幸満載のお食事処など、島の魅力スポットを訪ねます。



瀬戸内海の絶景とアート、 海の幸をめぐる島歩き 高松市



瀬戸内海に浮かぶ人口約160人の島「男木島」。瀬戸内国際芸術祭の島として若い世代からも注目され、移住者も増加中です。



スペインの現代芸術家、ジャウメ・プレサ氏の作品「男木島の魂」が、島の案内所として訪れる人々を迎えます。

高松港から女木島経由で約40分、快適な船旅で到着する男木島は、源平屋島合戦で那須与一が射た扇が流れ着いたので「おぎ（おおぎ）」と呼ばれるようになったともいう歴史ある島。島に近づく、港から積み重なるように続く家並みが見えてきます。平地の少ない島では、港近くに民家が密集しています。着岸すると迎えてくれるのは、光と影が織りなすシルエットが美しい「男木島の魂」。

2010（平成22）年の瀬戸内国際芸術祭で制作された作品でもあり、「男木交流館」として機能する建物でもあります。



この日ガイドをしてくださったのは、左から灯台資料館管理人の谷川清さん、男木島観光協会会長の宮下淳さん、男木地区コミュニティ協議会会長の福井大和さん。

まずは海を背に左手に向かい、坂道を上がって島の西側の道を通り「男木島灯台」を目指します。道沿いから見る男木島沖は重要な本船航路、時には巨大な船影がゆったりと過ぎて



男木島灯台の周囲は水仙郷として知られ、1月下旬から3月上旬にかけてスイセンの花の香りに包まれます。



旧約聖書のノアの箱舟に発想を得たという山口啓介氏の作品「歩く方舟」。
島を背負って海を渡るようにも見えます。



当初の姿とほとんど変わらない男木島灯台。
灯台の歴史が分かる灯台資料館は入館無料で、原則日曜日と祝日のみ9時から16時半の開館。
灯台オリジナルスタンプを押すこともできます。

ゆきます。

男木港から25分ほど歩けば到着するのが「男木島灯台」。1895（明治28）年12月に完成した灯台は126年が過ぎた今も堂々たる姿で海の安全を守り続けています。外壁は庵治石の石造りで、無塗装の石造りの灯台は、日本に2基しか残されていません。日本の灯台50選にも選ばれ、国の登録有形文化財に認定されています。

灯台の横には「男木島灯台資料館」があり、1957（昭和32）年に撮影された映画「喜びも悲しみも幾年月」の紹介や創立当時のプレートなど、灯台ゆかりの品の数々が展示されています。灯台の正面にあるのは、以前の宿舎。電気が使われる前は、ガスなどであかりをとっていたので、2人の職員が家族とともに灯台を守り続けていました。

灯台を後にして来た道をたどり、今度は港から東に徒歩10分ほどにある瀬戸内国際芸術祭の作品を見に行きます。美しい砂浜の「大井海水浴場」。防波堤の上には、海に向かって歩き出しそうな「歩く方舟」。先の対岸には、屋島や五剣山が見えます。

続いては、島の高台にある「豊玉姫神社」。古代から安産の神として知られ、古事記や日本書紀に描かれた「海幸彦・山幸彦の伝説」で有名な豊玉姫（トヨタマヒメ）をお祀りしています。神社から西の海を眺めると大槌・小槌の2つの島が海の鳥居として、男木島まで参道を作っているよう。夏至頃に石段の鳥居から眺めれば、海の鳥居の間に夕日が沈んでゆきます。

神社に参拝し島一番という絶景を楽しんだ後は、迷路のような家並みの間を下ります。島の坂道では、突然カラフルな壁画が出現します。「男木島 路地壁画プロジェクト wallalley」は、島で集めた廃材など

に風景のシルエットを描き、民家の外壁に設置した瀬戸内国際芸術祭の作品です。

島歩きの後には男木の美味を堪能しましょう。季節の地魚定食が評判の「民宿お食事処円」は、オーシャンビューのテラス席もあり、夕日の絶景スポットとしても知られています。

4月14日からは「瀬戸内国際芸術祭2022」が始まります。この春は、他では味わえない美景、美味が待つ男木島へ、船出してみませんか。



新鮮な海鮮料理がうれしい円のランチ。この日のタコの天ぷらも絶品でした。タコの柔らかさは企業秘密。



伝説では神武天皇の母という豊玉姫。豊玉姫神社の石段からは男木島の屋並みと瀬戸内海の絶景を眺めることができます。



香川の自治に新しい力 New Face

はじめまして

高松市
総務課

たかさき さよ
高崎 紗代さん



■目指す人物像は？

常に市民目線で業務に取り
組むことができ、皆さまに信頼
される職員になりたいです。

■高松市をこうしたい！

活気があり街中で笑顔が見
られる、子どもから高齢者まで
幅広い年代の方が暮らしやすい
まちにしたいです。

小豆島町
オリブ課

たなか てる
田中 輝さん



■あなたのチャームポイントは？

積極的に挑戦するところです。
留学や一人旅を通して、行動力
が身につきました。

■小豆島町をこうしたい！

小豆島町の魅力をさらに発信
して、国内だけでなく、世界中から
観光客や移住者が集まる、活気
あふれるまちにしたいです。

善通寺市
土木都市計画課

ささき ひろと
佐々木 啓人さん



■あなたのチャームポイントは？

裏表がなく、誰とでも気軽に
接することができるところです。よく
話しかけやすいと言われます。

■善通寺市のいいところは？

お寺や自衛隊があるほか、おい
しいお店が多いことです。昼休憩
の際、先輩方と一緒にいろいろな
お店に行っています。

宇多津町
総務課

しもたしろ たくみ
下田代 拓巳さん



■目指す人物像は？

自分から行動し周囲から信頼
される人です。どんな立場でも
自分から動ける人になります。

■宇多津町をこうしたい！

宇多津町には、公園や公共施設
が多いので、町民の方々のコミュニ
ティの場の中心となるようにそれらを
運営していきます。

東かがわ市
大内こども園

あべ はなえ
安部 英恵さん



■今、熱中していることは？

部屋の模様替えをすること
です。インテリアの色や配置に
こだわりながら楽しんでいます。

■東かがわ市をこうしたい！

誰もが住み続けたいと思える
まちにしていきたいです。保育を
通して、子どもたちに、まちの魅力
が伝わるよう関わっていきます！

中讃広域行政事務組合
租税債権管理課

しづや なおき
澁谷 直輝さん



■あなたのチャームポイントは？

笑うとえくぼができる所です。
周りの方には素敵だねと言われる
ことが多いです。

■組合のPRをお願いします！

構成団体の2市3町（丸亀市、
善通寺市、琴平町、多度津町、まんの
う町）を支えるために、縁の下の力持ち
として日夜業務に励んでいます。

三豊市
総務部人事課

いしかわ なつき
石川 夏生さん



■目指す人物像は？

住民の方に安心して手続きや
相談事をしていただける市職員
になりたいと思います。

■三豊市のいいところは？

「父母ヶ浜」や「紫雲山」といっ
た自然に囲まれた観光名所がある
ことです。四季折々の豊かな自然を
日常的に感じることが出来ます。

小豆島中央病院
3階病棟

にしなかし ほ
西中 史帆さん



■今、熱中していることは？

映画鑑賞です。早く映画館の
大きなスクリーンで観ることが
できるのを楽しみにしています。

■企業団の仕事内容は？

患者さまが安全安楽に過せる
よう看護を行います。また、入院
前の生活へ戻れるよう患者さまの
個性のある看護を行います。



「まめまめびーる」のビールは、ふるさと納税でも大人気。手作り無濾過のため、酵母がそのまま生きています。だから、体にも心にもやさしい味わいです。



ビールはもちろん、ランチやソフトドリンクも楽しめる「まめまめびーる」。カウンター席と海が見えるテラス席、離れの一棟には椅子席もあります。



小豆島町

小豆島でこそ醸せた地ビールの味わい

まめまめびーる

(醸造家 中田 雅也さん)



海が見える場所を求めて島に移住した中田雅也さん。小豆島にこだわりながら、まめに働いています。

小豆島の坂手港から坂道を10分ほど

登ると、黒い板塀が印象的な「まめまめびーる」があります。ここは小豆島ならではのクラフトビールの醸造所兼出来立て

のビールが味わえるパブ。庭に出れば、眼下に瀬戸内海を望み、キラキラ輝く午後の

海を見ながら、至福の一杯を味わうことができます。

がでます。

この場所を選んだのは、醸造家の中田雅也さん。語学留学で訪れたアメリカで

おいしいビールに出会い、それ以来、ビールを求めて日本全国を旅しました。ある時、

岡山の小さな醸造所で人生の師に出会い、ビールと共にこんな生き

方もできるのだと気付きます。そこで、脱サラを

決意。それから「海が見える」を条件にあちこち

探し歩き、こた、と一目ぼれしたのが坂手の坂の

上でした。犬島で働いていた経験があるという



週末や祝日に坂手港で「きまぐれびーる屋台」をオープンするほか、イベントなどにも出店し好評を得ています。写真は、小豆島ビアフェスタの屋台風景です。

奥さまの史子さんもすぐに賛成。幾度も

小豆島に足を運び、理想の醸造所を完成させました。

「まめまめびーる」のこだわりは、土地のものを生かすこと。まさに地ビールです。

例えば、2021(令和3)年度のがわ県産品コンクルの最優秀賞に輝いた黒ビール

「くろまめまめ」には、小豆島のもろみが使

われています。最初は、ビールに使えるものはないかと自ら足を運んで探していました

が、今では生産者の方々がもろみだけでなく、自慢の作物も持ち寄ってくれるようにな

りました。ありがたいことに、生産者の方々に「まめまめびーる」は支

えられていることを実感しているそうです。

さらに2021(令和3)年6月には、念願の小豆島産100%

ビール「SHODOSHIMA100」を発表。オリブの花のビール

酵母に出会い、小豆島の素材のみでビールを造る夢もかなえ

ました。ビールは麦芽を使つて醸造しますが、

手軽で安価な輸入物と違い、島の麦を麦芽にするためには大変な手間と費用がかかります。

それにもかかわらず、最初の年に県外の製麦所に送った麦は、麦芽にできません

でした。すべて島の素材でできたビールを造るとい

うのは、中田さんと島の生産者の情熱と努力がなければかなうものではありません。

中田さんご夫妻は、週末や祝日になると坂手港に「きまぐれびーる屋台」を出し、お

いしいビールと料理を提供し、交流を深めています。「僕は島の元気印じゃないですよ。僕が

島の人々に元気をもらっています。だから恩返しに島のおいしいビール

を造りたいんです。」と語る中田さん。サラリーマン

時代と違い、今はどんなに忙しくても、ストレスは全

く感じないとのこと。島の風景と中田さんのビール

は、今日も大人たちに癒しと元気を与えています。

DATA

まめまめびーる
☎0879-62-8670
(香川県小豆郡小豆島町坂手甲769)
<https://www.mamemamebeer-shodoshima.com>

長期貸付事業

本協会は、サマージャンボ宝くじの収益金を原資とし、市町および一部事務組合が行う公共施設整備等の起債事業に対し、低利資金を融資しております。

■**貸付条件** 償還期間および据置期間については、次の期間から市町および一部事務組合において選択していただきます。

貸付の種類	貸付対象	償還期間	貸付利率	償還方法	貸付日
長期貸付	一般会計債 (全事業)	5年(据置期間1年以内)	年0.10%(※)	半年賦元金均等償還	毎月24日 (※)
		10年(据置期間2年以内)	年0.10%(※)		
		12年(据置期間2年以内)	年0.11%(※)		
		15年(据置期間3年以内)	年0.20%(※)		
		5年(据置期間1年以内)	年0.10%(※)	半年賦元利均等償還	
		10年(据置期間2年以内)	年0.10%(※)		
		12年(据置期間2年以内)	年0.11%(※)		
		15年(据置期間3年以内)	年0.20%(※)		

※貸付利率は、令和4年2月貸付の場合。財政融資資金(政府資金)の貸付金利が年0.7%以上3.3%未満の場合には、当該貸付金利から0.3%を減じた率、当該貸付金利が年0.3%以上0.7%未満の場合には、年0.3%とし、当該貸付金利が年0.3%以下の場合には、当該貸付金利と同率とします。

なお、同資金の貸付金利が、次の表の貸付期間別に定める貸付利率未満の場合には、上記の規定にかかわらず、当該貸付利率とします。

貸付期間	10年以下	12年	15年
貸付利率	年0.10%	年0.11%	年0.14%

また、貸付日は、毎月24日。

■**事業実績(令和2年度貸付)** 長期貸付は7市4町および3一部事務組合51事業に対して総額14億8,970万円の貸付。

■主な貸付先

高松市／学校教育施設等整備事業(学校給食センター建設事業)

成長期にある子供たちにとって、欠かすことのできない学校給食を調理するため、施設の老朽化や児童生徒数の急増に対応する調理場を整備し、安全で安心な学校給食を将来的にわたり安定的に提供する必要があり、調理場を整備することにより成長期にある子供たちの健康的な心身をはぐくみ、食育を推進することが図られた。

小豆島町／旧合併特例事業(旧市町村合併特例事業)

都市下水道再整備事業において、都市下水道の再整備を行うことで、河川・港湾の護岸嵩上げ事業と一体となって、降雨高潮災害に対する防災能力を高めることが図られた。

香川県三豊市観音寺市学校組合／学校教育施設等整備事業(三豊中学校屋上防水改修事業)

三豊中学校の校舎は昭和52年3月に竣工しており、築40年が経過している。校舎棟においては雨漏りが発生しており、棟全体の防水改修の必要があったため、今回の防水改修工事の実施に伴い、生徒の学習環境の改善を図るとともに老朽化した校舎の長寿命化が図られた。



宝くじのご購入は

香川県内の売り場で!

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

宝くじ公式サイトでも宝くじを購入できます!!

特典1 たまる!つかえる!宝くじポイント

宝くじの購入で100円につき1ポイントの宝くじポイントが獲得できる!

宝くじ公式サイトや宝くじ売り場で1ポイント1円としてつかえる!

特典2 購入～受取までネットで完結!

24時間いつでも宝くじの購入可能! 抽せん結果も宝くじ公式サイトで確認!

当せん金は、登録した受取口座に自動でお振り込みするので、とっても便利!

特典3 宝くじ会員限定のキャンペーンに参加できる!

他にもお得な特典や便利なサービスいろいろ! **今すぐ会員登録!**



本件に関するお問い合わせ先

宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)
受付時間 10:30～18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く) ※電話番号を十分ご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。



公益財団法人 香川縣市町村振興協会